

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2016.10) 平成27年度:28.

全人工股関節置換術を受けた患者の配偶者が抱いている思い

北崎 唯, 佐藤 真帆, 原谷 香織, 井戸川 みどり

「全人工股関節置換術を受けた患者の配偶者が抱いている思い」

キーワード：THA 家族 配偶者 思い 日常生活

○北崎 唯¹⁾ 佐藤 真帆¹⁾ 原谷 香織¹⁾ 井戸川 みどり²⁾

1) 旭川医科大学病院 8 階西ナーステーション 2) 旭川医科大学病院手術部ナーステーション

I. 研究目的

A 病院 B 病棟で全人工股関節置換術（以下 THA とする）を受ける患者の家族から退院後の生活上の支援に関して困難や不安の声が聞かれることがある。本研究では、患者の配偶者が退院後の患者との生活に対してどのような思いを抱いているのかを明らかにし、患者と家族が共に安心して退院でき、QOL の向上につなげる看護支援に役立てたいと考えた。

II. 研究方法

1. 研究対象：対象者は、THA を施行した患者の配偶者で、退院後の患者の主な支援者となる者 5 名とした。2 人暮らしの夫婦とした。
2. 方法：患者の退院前に配偶者に半構成的面接を行った。
3. 分析方法：面接内容を逐語録としコード化、カテゴリー化した。質的研究の経験者によるスーパーバイズを受けた。面接内容は、患者家族が退院前に感じる不安の 5 つの要因【患者の ADL】【介護力】【病気や障害の見通し】【介護サービス関連】【患者の社会参加】¹⁾を基に独自のインタビューガイドを作成し、実施した。
4. 倫理的配慮：対象者に研究目的、方法、参加は自由意思に基づくものであり、中止・撤回しても不利益を生じないこと、個人情報、プライバシーは保護されること、学会発表に用いること等を口頭並びに書面にて説明、同意を得た。また、本研究は A 病院の倫理委員会の承認を得た。

III. 結果

対象者 5 名は、男性 3 名、女性 2 名で 60～70 歳代であった。退院後の患者との生活に対しての思いとして、46 のコードと 7 のカテゴリーが抽出された。以下カテゴリーを【】、コードを「」で示す。患者の配偶者は、手術を終えて「痛みがなくなってよかった」など【手術を終えた安堵】の気持ちがあった。同時に、「リハビリで何を指導されているかわからない」など【現状がわからない】状況があり、「思っていたよりも大変」「階段を登れるのか」など脱臼、転倒を予防するための【日常生活上の不安】を抱いていた。また、「性格上すぐに動いてしまう」など【性格やこれまでの習慣からくる懸念】があり、患者を「一人にできない」など【目が離せない】と感じていた。そして、「家事のサポートが必要だと思う」など、【サポートへの覚悟】を抱いていた。一方、「日常生活が自立して欲しい」など【自立への期待】をもっていた。

IV. 考察

患者の配偶者は、患者の疼痛や歩容が改善され、安堵の気持ちを抱いていた。しかし、リハビリテーションや患者の脱臼に対する理解状況など現状が分からず、退院後の日常生活の状況を予測できないために、脱臼や転倒を予防する上での日常生活への不安をもっていた。また、患者の性格やこれまでの生活習慣から目を離せないと感じ、サポートへの覚悟が生まれていた。THA を受けた患者は、術後、脱臼への不安がありながらも生活上の工夫をし日常生活の折り合いをつけていく過程があることが指摘されている²⁾。看護師は、患者の配偶者も不安であることを理解し、過度の不安を抱かないように患者のリハビリテーションや脱臼回避動作の獲得状況を伝えていくことが必要と考える。さらに、配偶者からも患者の性格や生活習慣について具体的な情報を得て、教育に取り入れていくことが重要である。一方、配偶者は、患者に自立してもらいたい期待も抱いていた。これは、手術前には疼痛のために患者らしい生活ができていなかったことや配偶者自身も自分の生活を守りたいという気持ちをもっていることが影響していると考えられた。このような配偶者の思いを踏まえながら患者が自立に近づけるように支援していくことが必要であると考えた。

V. 結論

1. THA を受けた患者の配偶者が抱いている思いとして、【手術を終えた安堵】【現状がわからない】【日常生活上の不安】【性格やこれまでの習慣からくる懸念】【目が離せない】【サポートへの覚悟】【自立への期待】のカテゴリーが抽出された。
2. 看護師は、配偶者も不安であることを理解し、患者の脱臼回避動作の獲得状況を伝えるとともに、患者の性格や生活状況の情報を配偶者からも聴取し教育に取り入れる必要がある。

VI. 引用・参考文献

- 1) 河井丈幸他：回復期リハビリテーション病棟における患者・家族が退院前に感じる不安の要因に関する研究—入院患者・家族へのインタビュー調査を通して—、第 43 回成人看護Ⅱ，2013，p39-42
- 2) 赤木京子他：人工股関節全置換術を受けた患者の在宅における生活状況と活動量に関する研究，日本看護研究学会雑誌 Vol. 33 No1，2010，p121-131